

| 授業科目名              |   | 開講<br>年次  | 開講<br>期間 | 単位数 | 授業<br>形態   |
|--------------------|---|---|----------|-----|------------|
| 精神看護学特論Ⅳ(リエゾン精神看護) |   | 1   | 前期       | 2   | 講義<br>30時間 |
| 担当教員               | 田中美恵子、嵐弘美、山内典子、飯塚あつ子  |   |          |     |            |
| 授業概要               | リエゾン精神看護の役割と機能、その理論的枠組み、対象の特徴、活動の実際などについて、理論的に学習するとともに、実践レベルに応用できる力を養う。<br>☆サブスペシャリティに応じて、特論ⅣかⅤのどちらかを選択。両方取ることも可能とする。   |   |          |     |            |
| 到達目標               | 1. 精神看護学の一専門領域としてのリエゾン精神看護の位置づけ・目的・機能を理解する。<br>2. 身体疾患をもつ患者の精神状態の特徴およびアセスメントの方法について理解する。<br>3. せん妄、抑うつ、怒り、不安の4つの精神状態について説明できる。<br>4. 直接ケアの技法、およびコンサルテーションのプロセスや方法について理解する。<br>5. 看護師のメンタルヘルスの特徴およびリエゾン精神専門看護師が行う支援について理解する。<br>6. 組織変革者としてのリエゾン精神看護師の役割・機能について理解する。 |   |          |     |            |
| 履修条件               | 特になし  |   |          |     |            |
| 授業計画               | 回   | 内容  |          |     | 担当教員       |
|                    | 1-2   | 概論：リエゾン精神医学・看護成立の歴史、定義、位置づけ、目的、機能について理解する。                  |          |     | 田中         |
|                    | 3-4   | 直接ケアの技法：アサーションとリラクセーションの技法について、理論と演習で学ぶ。                    |          |     | 飯塚         |
|                    | 5-8   | 各論：せん妄・抑うつ・怒り・不安のアセスメントと援助について学ぶ。                           |          |     | 山内         |
|                    | 9-10  | コンサルテーション：患者中心のコンサルテーションとコンサルティ中心のコンサルテーションの実際について事例を通して学ぶ。 |          |     | 嵐          |
|                    | 11-12   | 看護師のメンタルヘルス支援：看護師のメンタルヘルス支援の方法と実際について学ぶ。                    |          |     | 嵐          |
|                    | 13-14   | 管理的コンサルテーション：管理的コンサルテーションの方法について理論と事例を通して学ぶ。                |          |     | 山内         |
|                    | 15  | 組織変革へのアプローチ：組織変革へのアプローチについて理論と事例を通して学ぶ。                     |          |     | 山内         |
| 教科書                | 野末聖香編著：リエゾン精神看護－患者ケアをナース支援のために、医歯薬出版  |   |          |     |            |
| 参考書                | 適宜紹介  |   |          |     |            |
| 評価方法・基準            | プレゼンテーションの準備度20%、講義および討議への参加度10%、レポート70%とし、総合的に評価する。  |   |          |     |            |
| 事前・事後学習            | 事前に示した資料を読んでおくこと。事後には、疑問点を整理し、さらに文献等を通して理解を深める。   |   |          |     |            |
| 備考                 | 特になし  |   |          |     |            |